

# 007 松本 猛 さん



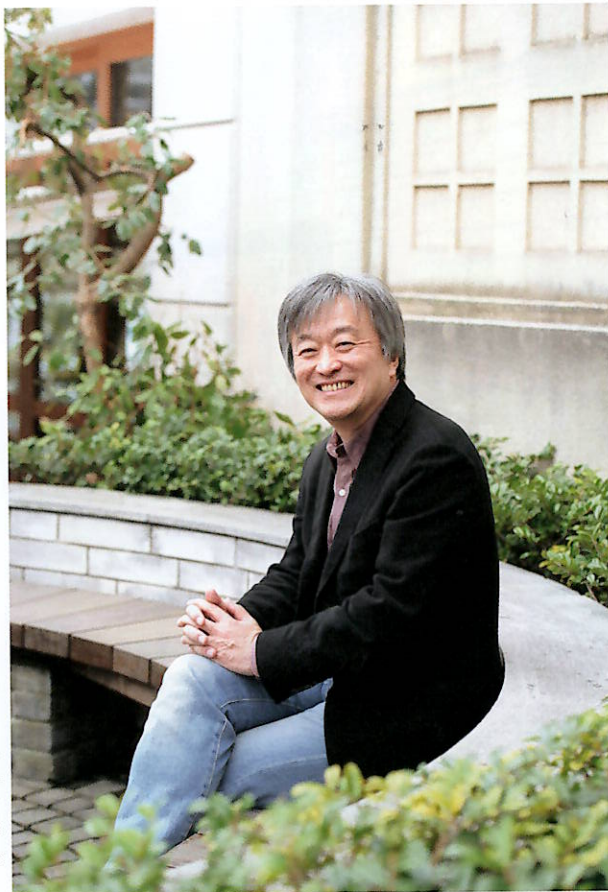
周囲に広がる安曇野ちひろ公園は53500㎡。電車の教室が再現されたトットちゃん広場もある

## 安曇野ちひろ美術館

〒北安曇郡松川村西原3358-24  
☎0261-62-0772

### 未来への期待・希望

昨年、評伝『いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて』（講談社）を上梓。今秋には『花と子どもの画家 いわさきちひろ』（新日本出版社）、来年は岩波書店から『新絵本論（仮題）』をそれぞれ刊行予定です。その後、東山魁夷の小説を執筆予定です。



撮影：島崎信一

### profile

松本 猛  
美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問、信州自遊塾塾長。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館設立。同館館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長、絵本学会会長を歴任。

### 今年、母ちひろの生誕100年の年

ちひろ美術館・東京の開館20年目にいわさきちひろ縁の地、安曇野に開館。ちひろの作品とともに世界の絵本画家の作品27000点を収蔵し、コレクション数は世界最大規模。いわさきちひろ生誕100年の今年、各地で講演会を開催。氏ならではの視点から話を聞くことができる。

# 008 石川 利江 代表



### 未来への期待・希望

芸術は好きな人が楽しむという固定観念はまだある。人の人生に感動をあたえ、生きていく力となるものだということを、もっと伝えていきたい。

### profile

石川 利江

東京の大学で能、歌舞伎などの伝統芸能を学ぶ。歌舞伎に会い、人生観がひっくり返るような衝撃を受ける。卒業後、長野市に帰郷。企画事務所とギャラリーを開業する。

## ISHIKAWA 地域文化企画室・ギャラリー表参道

〒長野市東後町21  
グランドハイツ表参道武番館B1F  
☎026-217-7660  
営業10～18時 休水曜



### 自分に合うアートを生活の片隅におく

30年前から長野市でギャラリーを営んでいる石川利江さん。大学を卒業し、帰郷した頃は、長野市にはデパートなどの他、ギャラリーがほとんどなかった。そこで、新しい表現や魅力的なクラフトなどに触れる場として、ギャラリーを開業。県内外の若手作家を中心に紹介してきた。アートは世間的評価などではなく、自分の眼で選び、楽しむもの。

日々の暮らしの中で、非日常を感じるような「感動」が大切と言う。感動は心に筋力をつけ、生きる力を付けてくれるのではないだろうか。

作家と地域をつなぐ役割も果たし続けている石川さん。「私たちの生活のほとんどに芸術はなんらかの形で関わっています。」と、優しく問いてくれる。